

◆ 絵画の取付、保管場所・点検・お手入れについて ◆

【絵画の設置について】

- ① 作品と額の良好な状態を保つ為、下記の場所での取付や保管は避けましょう。
 - (A) 直射日光が当たる場所、温度、湿度が極端に高い場所。
 - (B) 空調器具の温風・冷風が直接当たる場所。
 - (C) 屋外ならびに雨風の直接当たる場所。
 - (D) 振動の多い場所、ホコリの多い場所など。
- ② 取付けた絵画の下に高価なものを置かない。
額縁が予期せぬ事で壁から落ちる可能性もゼロではありません。また、人が通る戸口の真上なども飾る場所としては不向きです。
- ③ 壁の材質に応じた専用の金具を使用する。
画鋸・釘等を使用して吊り下げると落下の原因になります。額縁の重量と壁面の材質に応じた絵画取付専用の金具をご使用下さい。市販されている金具には安全荷重の目安が記載されています。
※石膏ボードの場合は条件により安全重量の目安の半分以下になることもあります。

【取付け備品 点検のおすすめ】

落下を防ぐ為、取付備品の点検をお奨めいたします。※推奨頻度：少なくとも年に1回以上

- ① 吊りヒモの強度：ヒモの結び目が緩んでいないか。切れかかっていたり、ほつれなどの異常がないか。
- ② 吊り金具の状態：ネジ、金具の変形や錆などの異常がないか。吊り金具が錆びていると接している部分のヒモも切れやすくなります。

【額縁のお手入れについて】

せっかく飾った額縁も放っておくと、すぐに埃が付着します。日頃から、乾いた柔らかい布で軽く拭きましょう。(額縁を掃除する時は、必ず壁から下ろして行う。)

【長期保管の際の注意点】

絵画保管で特に注意する点は湿気と高温です。納戸等の密閉性が高い場所に長期間入れたままの状態は避けます。また絵画にとって理想的な保存環境は20℃前後、湿度50%前後と言われています。室内では温湿度計のご使用をお奨めいたします。

- ① 額装された絵画は布袋に入れ、箱に保管する。
- ② 定期的に外気に当て、時には直射日光の当たらない場所に1～2日置いて乾燥させる。
※推奨頻度：環境にもよりますが、少なくとも年に1回以上
- ③ 額の裏板と作品の間に、中性保護紙を挟むことで、カビの発生を防ぎ、湿気対策に役立ちます。※ 中性保護紙は画材専門店にて市販しています。
- ④ 掛軸など、額で保護されていないものを長期保管する際には、晴れた日に虫干を行い、専用防虫香などと一緒に桐箱へ収納する。